

CONFERENCE REPORTS (1)

第6回表面科学セミナー (1986年)

——表面・界面および薄膜の設計・
作成と問題点——

佐々木 敬介

慶応義塾大学理工学部

〒223 横浜市港北区日吉 3-14-1

(1986年10月7日受理)

The 6th Seminar of Surface Science

Keisuke SASAKI

Faculty of Science & Technology, Keio University
3-14-1, Hiyoshi, Yokohama-shi 223

(Received October 7, 1986)

第6回表面科学セミナー——表面・界面および薄膜の設計・作成と問題点——は7月9日(水), 10日(木), 11日(金)の3日間にわたって東京・お茶の水の総評会館において開催された。プログラムは下に掲げた内容および

講師を配しセミナーの充実を図った。即ち、現在広い意味でのエレクトロニクスの分野では各種機能素子は極限的に微細化する傾向を示しており、表面・界面および薄膜の設計・作成は多彩な方法によって支えられるようになってきているので、この状況を反映した講師および演題の配置となっている。どの講演も興味深いものであったが特に OMVPE (Organo Metallic Vapor Phase Epitaxy) による超格子および量子井戸形レーザの形成, LB (Langmuir-Blodgett) 膜および生体膜, 分子エレクトロニクスの話題などに出席者の関心が集まっているようであった。3日間, 毎日最終講演のあとに約一時間の総合討論の時間を設けたが, 活発な質問, 討論が高い水準で行われ, 本セミナーの性格が現れているように感じられた。各講師の先生方には資料の作成から講演, 討論に至るまで労を厭わず御協力をいただき, 改めて深く感謝申し上げたい。

本セミナーは告示が少々遅れたのと競合する他のセミナー(内容的には競合しないが)があったりで, 参加者が約40名と稍, 少なかったがそれだけに相互に親密感を覚えるものであった。

尚本セミナーのテキストに若干残部があるので御希望の方は, 本会事務所に御連絡願いたい。

月 日	講 演 題 目	講 師
7月9日(水) 薄膜の設計・作成	超格子・ハイブリッド多層膜の設計 Organometallic Vapor Phase Epitaxy (OMVPE) による薄膜の設計 生体(用)膜の設計・作成・解析	堂山 昌男(東大工) 渡部 尚三(ソニー中研) 雀部 博之(理研)
7月10日(木) 有機薄膜の設計	有機電界合成による界面・膜の設計・作成 Langmuir-Blodgett 膜(LB膜)の設計・作成 有機多層膜の分子エレクトロニクス	野中 勉(東工大) 中西 八郎(織高研) 杉 道夫(電総研)
7月11日(金) 表面・界面の設計	Si-On-Insulator (SOI) 界面の設計 センサにおける界面設計 光 Chemical Vapor Deposition (光 CVD) による薄膜の設計	大泊 巖(早大理工) 柳田 博明(東大工) 英 貢(豊橋技科大)